

第177回 “いのち” を考える会 報告



—聴覚障害者の医療を考える会—

2019年9月26日(木) 18時30分～20時30分

あすてっぷ KOBE セミナー室 3

参加者 26名 (うち聴覚障害者 9名)

テーマ: 「レジオネラ肺炎」

～これ何? 私たちがかかる病気なの?～

講師: つちや たかあき 土屋 貴昭 先生 (独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター 呼吸器内科部長)



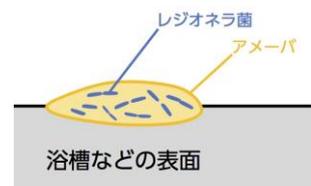
●レジオネラ症って?

- ・レジオネラ菌属によって引き起こされる感染症
- ・国内では入浴施設を発生源とした感染事例が多数報告されており、近年発生件数は増加傾向

●レジオネラ菌属について

- ・土の中や河川、湖沼などの自然界の土壌や水に普通に生息している
- ・アメーバなどに寄生して、20～50℃で増殖する
- ・身の回りでは、大型の冷却塔の水や循環式浴槽の水で多く検出される

← 水滴と一緒にレジオネラ菌を吸い込んでしまうことになる!



冷却塔



ビルの屋上にある
こういうのを見か
けたことありませ
んか

●レジオネラ症には2つの型がある

レジオネラ肺炎

- ・潜伏期間: 2～10日
- ・症状: 高熱、寒気、筋肉痛。吐き気や意識障害を主な症状とする肺炎で、時には重症になり死に至る場合もある
- ・集団発生での発病率: 1～7%

ボンティアック熱

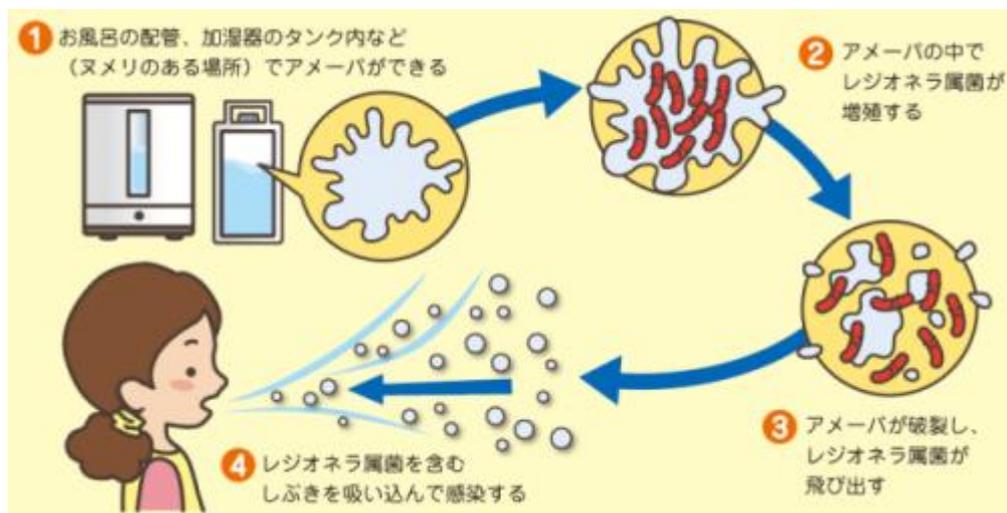
- ・潜伏期間: 1～2日
- ・症状: 発熱などを主な症状とした非肺炎型疾患。発熱、寒気、筋肉痛がみられ、一般に数日で軽快する
- ・集団発生での発病率: 95%以上

●レジオネラ症の特徴

- ・レジオネラ肺炎は乳幼児や高齢者、病気にかかっている人など、抵抗力の弱い人が感染しやすい（どの肺炎にも言えること）
- ・人から人へ感染することはない
- ・環境中に常在するレジオネラ菌属が、すぐにレジオネラ症を引き起こすのではなく、循環式浴槽や冷却塔の冷却水などで増殖することで、一つの感染源から複数の人に感染することがある

●レジオネラ菌属はどうやって増殖する？

- ・壁面や配管などで発生する“ぬめり”の中で、アメーバができる
 - 寄生したレジオネラ菌属は、増殖を繰り返す
 - やがてアメーバが破裂して、レジオネラ菌属が飛び出す



- ・“ぬめり”のある箇所は細菌などが増えてしまった状態。入浴施設では水が温かく、入浴者のアカなどが栄養となるため、掃除や消毒が不十分であるとすぐに“ぬめり”が形成される
- ・“ぬめり”は表面が膜で覆われていて、塩素系消毒薬や湯などから内側のレジオネラ菌属を守っている

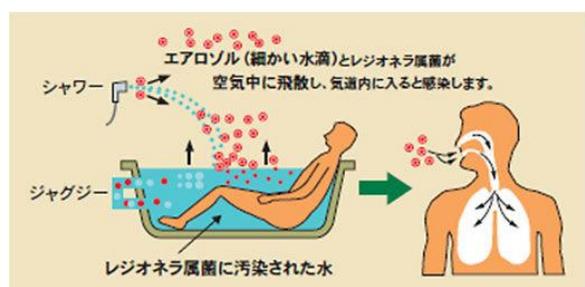
●家庭でのレジオネラ菌属の対応

(浴槽)

- ・何日もお湯を抜かず追い炊きしていると、同じ湯が配管内を循環・停滞することになり、レジオネラ菌属が増殖する危険性が高まる

⇒

- ・浴槽の湯は毎日交換する
- ・配管洗浄剤などを使用し、定期的に追い炊き用配管の洗浄をする
- ・浴室内の状態を毎日チェックし、汚れやぬめりがあれば十分に洗浄する。汚れがひどい場合は、消毒剤を使用する。
- ・ジェットバスやシャワー、高い位置の蛇口から浴槽に湯を入れる場合は、水しぶきにレジオネラ菌属が含まれる可能性があるため注意が必要



(加湿器)

・超音波式加湿器（超音波で空気中に水滴を噴霧するタイプ）は、常温の水が細かい水滴となって飛散するので、タンク内でレジオネラ菌属が増殖すると発生源になる可能性がある

⇒

- ・タンクの水は毎日交換する
- ・汚れやぬめりが生じないように、ノズルやタンク内を定期的に洗浄する
- ・長時間使用しないときは、水を拭き汚れを取り除いて乾燥させる

●レジオネラ症の治療

- ・抗生剤（ニューキノロン系やマクロライド系）を使用
- ・呼吸不全を伴うことが多いので、酸素投与が必要であり、人工呼吸器が必要になることもある

●講演後の質疑応答より

(ろう者の質問)

- Q. 家庭のエアコンや室外機でも、レジオネラ肺炎の原因となるのか？
- A. レジオネラ肺炎に関しては、家庭のものは小さいので心配はいらぬが掃除することは必要。「なまあたたかい水」が危険という認識で良い。



- Q. 肺炎やインフルエンザにかかっているときに入浴してもよいのか？
- A. お風呂に入ることは体力をつかうので、高熱の時は湯船につかるのはひかえた方がよい。

(健聴者の質問)

- Q. 洗濯物を部屋干しするときに除湿器を使っている。そこに溜まった水にレジオネラ菌は発生するのか？
- A. 水が溜まって放置しておく、ヌメリの原因になるので可能性はないとは言えない。湿っていることは、他の菌も発生する原因になるので、除湿器を使用しないときは乾燥させること。



- Q. 街の中のミストは大丈夫なのか？
- A. 使用している水が水道水であれば、塩素消毒されているので大丈夫だと思われる。

- Q. レジオネラ肺炎の患者報告数は女性より男性（特に 50～80 歳）のほうが多いのはなぜか？
- A. その年代の男性は喫煙者が多いこと、温泉に行く回数が多いと思われることが、感染しやすい原因と推測する。